



抗酸化・活性酸素除去商品を開発・販売

抗菌性の紙、不織布または繊維製品を活用した商品を開発。特に、当社の「ととシート」は肉などの保存用シートとして好評を博し、鮮魚・肉などの卸や販売店において売上高が増加傾向にある。

業況等の動向について

本業の動向について

創業当初は、喫茶店・雑貨販売店を運営していたが、現在は運営していない。

異業種参入事業の概要

鮮度・鮮色保持シート・抗菌マスク・介護用シーツの製造販売を手掛ける。現在は参入事業が本業となっており、売上高は 2,200 万円である。不織布マスクなどは、季節性の高い商品のうえ、昨年の過剰仕入れ商品が販売されるなど、現時点で生産に追われることがない。介護用シーツに関しては、割高感があるためか売り上げが伸びず、今後はコスト削減に励み実際に使用する方々に購入していただける価格設定をしていきたい。世間一般の景気が悪化し、鮮魚・肉などの卸や販売店で商品の回転が悪化しているため、鮮度・鮮色保持シートとして当社商品の「ととシート」が役に立つ環境にある。徐々に売り上げは増加してきており今後も緩やかな右肩上がりを持続すると思われ当社の主力商品になっている。

異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

当社社長が京都の医療機器メーカーの技術部に勤務している時の同僚から、「ブドウから抽出したプロアントシアニジンと糖質トレハロースの混合物が、強力な抗酸化作用を持っているので、高知の海洋深層水と組み合わせると商品化しては？」との提案を受けたこと。その技術を生み出したのは、国際糖尿病教育学習研究所の馬場茂明博士(当時)で、特許を所有する林原商事(岡山市)から使用許可も得られたため事業化に乗り出した。

参入に際しての投資について

高知工科大学、高知県立紙産業技術センターとの共同研究で、1,500 回を超える抗菌試験などを行ったが公設機関での試験のため費用的に抑えることができた。総額 1,650 万円を投じたが完成させることができ有意義なものとなった。

参入して最も成果のあがったこと

ゼロからのスタートであり、現在の営業基盤を築き売上を確保出来ていることが一番の成果だと思っている。

参入して最も困難だったこと

自社設備を持っておらず、元反を仕入れた後、縫い・裁断・加工等の工程全てを外注に頼っていた為、コスト高になってしまったこと。また外注であったため、納期の確認・予測がしづらかったことなど。

参入に際して活用した自社の技術ノウハウについて

抗菌性の紙、不織布または繊維製品(特許公開番号 4212561)を活用した。プロアントシアニジンと糖質トレハロースを調合した水溶液を不織布に塗布・乾燥させたもの。この水溶液に細菌を入れても死なないが、塗布して乾燥させると強い抗菌性を発揮し、ブドウ状球菌のような球菌・桿菌に対しても、99.99%を殺菌、不活性化する技術。

今後の展望・見通し

現在は焼き肉店を中心にサンプルの DM を送るなど、地道ではあるものの、徐々に販路が広がり始めている。今後、商品の幅を広げて販売活動に注力していく。

メリット・デメリット

単独で持っていない技術でも、他の機関などと手を組むことで新たな技術が生まれることがメリットである。

デメリットは、共に新事業を行っている企業との間に意識の差が生まれると、トラブルが発生する場合もあること。

異業種参入時のアドバイス

他の企業と共同事業を行うときには、細部にわたっての取り決めを必ず行っておくことが重要である。

行政の支援について

異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度
中小企業連携組織等調査開発等支援事業。

異業種参入に際し、行政に対して望む支援
販路の開拓支援が得られると助かる。

会社概要

設立:2003年4月

資本金:1,000万円

従業員数:4名

URL: <http://www.kujira-house.com>